

歯科医学序論 I

責任者名：今村 佳樹

学期：前期

対象学年：1年

授業形式等：演習

◆担当教員

今村 佳樹(口腔診断学 教授)

本田 和也(歯科放射線学 教授)

宮崎 真至(歯科保存学Ⅰ 教授)

武市 収(歯科保存学Ⅱ 教授)

佐藤 秀一(歯科保存学Ⅲ 教授)

飯沼 利光(歯科補綴学Ⅰ 教授)

月村 直樹(歯科補綴学Ⅱ 准教授)

松村 英雄(歯科補綴学Ⅲ 教授)

外木 守雄(口腔外科学Ⅰ 教授)

米原 啓之(口腔外科学Ⅱ 教授)

岡 俊一(歯科麻酔学 准教授)

植田 耕一郎(摂食機能療法学 教授)

本吉 満(歯科矯正学 教授)

白川 哲夫(小児歯科学 教授)

◆一般目標 (GIO)

歯科医学・医療一般についての基本的な知識を得るとともに、将来なるべき歯科医師としての責任と役割について歯科医療の現状や社会環境から理解をし、歯学部学生としての学習態度を修得する。

◆到達目標 (SBOs)

- ・社会で望まれている歯科医師の責任と役割が概説することができる。
- ・歯科医療を取り巻いている社会環境について述べるができる。
- ・歯科医療の担う役割りを概説することができる。
- ・自らの将来像を示すことができる。

◆評価方法

本教科は演習であるため全出席を原則とし、積極的な授業態度が求められる。授業で学習した内容の理解を助けるために小テストを行う。小テストはモバイル学修システムを用いて次回の授業の際に前回の内容について実施し、個人成績として評価する。試験はiPadを用いて行うので、必ずこの教科の授業にはiPadを持参すること。iPadが壊れて使用できない場合は、スマートフォンでも代用を認めるが、グループ学習においてiPadが必要になるので、極力iPadの携帯を推奨する。授業内で、事前に提示されたキーワードについて個人レポートを作成し、提出する。個人レポートは個人成績として評価する。また、事後学修として、グループレポートを課す。グループレポートは、講義で提示された課題について、グループで協力して情報を収集し、レポートをまとめて、次回の授業の際に提出すること。グループレポートでは、個人のグループ作業への貢献度をエフォートとして評価する。グループレポートはグループ全体の制作物として評定を行う。

当教科の評価は、毎回の授業で行う小テスト（30%）、小テストについては、当日、解説を加えてフィードバックを行う。個人レポート（20%）、グループレポート（50%）で評価する。定期試験は行わない。グループレポートにはコメントを付してフィードバックを行う。積極的な授業態度が無いと判断した場合は面談を行う。次回の授業の際に前回の授業課題に関するグループレポートを提出すること。提出日に遅れた個人レポートおよびグループレポートは受け取らない。グループレポートはグループ全員が協力して作成すること。グループ全員の共通の評価となる。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
今村 佳樹	火曜日 17:00～18:00・口腔診断教授室（本館6階）		
本田 和也	月曜日 17:00～18:00・学部長室（4号館6階）		
宮崎 真至	火曜日 17:00～18:00・保存学Ⅰ教授室（本館6階）		
武市 収	火曜日 17:00～18:00・保存学Ⅱ教授室（本館6階）		
佐藤 秀一	火曜日 17:00～18:00・保存学Ⅲ教授室（本館6階）		
飯沼 利光	火曜日 17:00～18:00・補綴学Ⅰ教授室（本館5階）		
月村 直樹	火曜日 17:00～18:00・補綴学Ⅱ研究室（本館5階）		
松村 英雄	火曜日 17:00～18:00・補綴学Ⅲ教授室（本館5階）		
外木 守雄	火曜日 17:00～18:00・口腔外科学Ⅰ教授室（本館5階）		
米原 啓之	火曜日 17:00～18:00・口腔外科学Ⅱ教授室（本館5階）		
岡 俊一	火曜日 17:00～18:00・歯科麻酔研究室（本館5階）		

植田 耕一郎	火曜日 17:00～18:00・摂食嚥下療法 学教授室（本館 6 階）		
本吉 満	火曜日 17:00～18:00・歯科矯正学教 授室（本館 6 階）		
白川 哲夫	火曜日 17:00～18:00・小児歯科学教 授室（本館 6 階）		

◆授業の方法

歯科医師という職業を理解し、自らの歯科医師像をアクティブラーニングによって具現化する。授業で学習する内容を自ら記録を取り、個人レポートとしてまとめることで理解を深める。また、グループ内で疑問点について検索しレポートをまとめることで、医療人としての共同作業の必要性を認識する。

実際の授業は、2時間連続の授業となり、最初の1時間目の授業の初めに前週の授業の振り返り小テスト（iPadを用いた双方向試験）を行う。その後、50分の講義を行い、2時間目には、1時間目の講義で学修したキーワードについての個人レポートを作成し、提出する。その後、前週の授業に関するグループレポートについて制作発表を行う。

【実務経験】

本田和也：歯科医師として、歯科放射線科及び顎関節症科の外来にて診断と治療に従事している。日本大学歯学部学部長の立場から、本学と歯科の現状と将来展望を説明する。

飯沼利光：日本大学歯学部附属歯科病院の病院長の立場から、最新の歯科医療と将来展望を説明する。（最新歯科医療の実際）

今村佳樹：診断学の専門の立場から原因不明の痛みを抱える患者さんの診療に当たっている。開業医からの紹介患者さんを診察し、診断することの重要性を説明する。

◆アクティブ・ラーニング

①双方向小テスト：前週の授業の内容についての理解を問う小テストをおこなう。各問題ごとにモバイル（iPad）を利用して解説（フィードバック）を行う。

②個人レポート：事前に提示したキーワードについて予習を行う。講義終了後に、各自調べたキーワードに関する個人レポートを作成し、提出する。

③グループレポート：事前に指定されたグループごとに集合し、提示された課題に対しての調査、協議、取りまとめを行う。取りまとめには時間を要するので、後日、グループ学習の時間を充ててグループ単位でのレポートを作成し、提出する。全員が、グループ学習における役割を担い、作成した内容について、次週の授業内で発表を行う。

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
プリント, pdf の配布				

◆DP・CP

DP1

コンピテンス：豊かな知識・教養に基づく高い倫理観

コンピテンシー：医の尊厳を理解し、法と倫理に基づいた医療を実践するために必要な豊かな教養と歯科医学の知識を修得できる。

CP1

歯科医学と医療倫理の基礎的知識を修得し、社会人としての品格と医療人になるための自覚を養成する。

DP3

コンピテンス：論理的・批判的思考力

コンピテンシー：多岐にわたる知識や情報を基に、論理的な思考や批判的な思考ができる。

CP3

幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。

DP4

コンピテンス：問題発見・解決力

コンピテンシー：自ら問題を発見し、その解決に必要な基本的歯科医学・医療の知識とスキルを修得できる。

CP4

歯科医学の基礎知識を体系的に修得し、臨床的な視点で問題を解決する力を養成する。

DP6

コンピテンス：コミュニケーション力

コンピテンシー：医療をはじめとする様々な場面において、他者との円滑な意思の疎通を行い、互いに価値観を共有し、適切なコミュニケーションを実践して自らの考えを発信することができる。

CP6

他者の意見を尊重し、明確な意思疎通のもと、円滑な人間関係を構築するためのコミュニケーション能力を養成する。

DP7

コンピテンス：リーダーシップ・協働力

コンピテンシー：患者を中心としたチーム医療において、責任ある医療を実践するためのリーダーシップと協働力を養うことができる。

CP7

歯科医師の責務を自覚して、責任あるリーダーシップを発揮し、患者を中心としたチーム医療における適切なコミュニケーション能力を養成する。

◆準備学習(予習・復習)

講義内容（キーワード）に関連する新聞記事や本、Web コンテンツを読んでおくと演習内容の理解が深まる。

個人レポートをまとめることで授業の内容の記録方法を学び、グループレポートをまとめることで疑問点を明らかにする。課題に対する調査を行うことで事後学修を確実にし、次回の授業における小テストにつなげる。

◆準備学習時間

授業時間半分相当を充てて予習あるいは復習を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

歯科医学概論Ⅱ(第1学年・後期)

自主創造の基礎1(第1学年・前期)

◆予定表

本授業専用サイトにて授業連絡を行う。必ず確認すること。

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		5.12	2 ～ 3	1. 学習のガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ iPad を使った演題の回答方法を習得する。 ・ 授業の要点についてノートテキングができる。 ・ 授業内容についての個人レポートをまとめることができる。 ・ グループにおいて授業における疑問点を抽出し、その疑問点について、調査し、レポートをまとめることができる。 ・ 歯科医学序論を受講するにあたり意識調査を行う。 	今村 佳樹	A-2-1) 課題単球・解決能力 A-2-2) 学修の在り方 A-4-1) コミュニケーション
2		5.19	2 ～ 3	2. 歯科放射線学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科放射線学で学習する内容についてノートテキングができる。 ・ 授業内容についての個人レポートをまとめることができる。 ・ グループにおいて授業における疑問点を抽出し、その疑問点について、調査し、レポートをまとめることができる。 	本田 和也	E-1-2) 画像検査を用いた診断
3		5.26	2 ～ 3	4. 保存学 I	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保存修復学で学習する内容についてノートテキングができる。 ・ 授業内容についての個人レポートをまとめることができる。 ・ グループにおいて授業における疑問点を抽出し、その疑問点について、調査し、レポートをまとめることができる。 	宮崎 真至	E-3-3)-(1) 齲蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療
4		6.2	2 ～ 3	5. 保存学 II	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯内療法学で学習する内容についてノートテキングができる。 ・ 授業内容についての個人レポートをまとめることができる。 	武市 収	E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療

					<ul style="list-style-type: none"> ・グループにおいて授業における疑問点を抽出し、その疑問点について、調査し、レポートをまとめることができる。 		
5		6.9	2 ～ 3	3. 保存学Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> ・歯周病学で学習する内容についてノートテキングができる。 ・授業内容についての個人レポートをまとめることができる。 ・グループにおいて授業における疑問点を抽出し、その疑問点について、調査し、レポートをまとめることができる。 	佐藤 秀一	E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療
6		6.16	2 ～ 3	6. 歯科補綴学Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ・総義歯学で学習する内容についてノートテキングができる。 ・授業内容についての個人レポートをまとめることができる。 ・グループにおいて授業における疑問点を抽出し、その疑問点について、調査し、レポートをまとめることができる。 	飯沼 利光	E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療
7		6.23	2	7. 歯科補綴学Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・局部床義歯学で学習する内容についてノートテキングができる。 ・授業内容についての個人レポートをまとめることができる。 ・グループにおいて授業における疑問点を抽出し、その疑問点について、調査し、レポートをまとめることができる。 	月村 直樹	E-2-4)-(10) 口腔・顎顔面領域の機能障害
8		6.30	2 ～ 3	8. 歯科補綴学Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウンブリッジ補綴学（冠橋義歯補綴学）で学習する内容についてノートテキングができる。 ・授業内容についての個人レポートをまとめることができる。 ・グループにおいて授業における疑問点を抽出し、その疑問点について、調査し、レポートをまとめるこ 	松村 英雄	B-1 健康の概念 B-3-1) 予防の概念

					とができる。		
9		7.7	2 ～ 3	9. 口腔外科学Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床医学で学習する内容についてノートテキングができる。 ・授業内容についての個人レポートをまとめることができる。 ・歯科治療に必要な全身管理方法において、血圧について血圧の意味、測定法、結果の解釈ならびに関係する病気を学修して、基礎的なことがらを説明できる。 	米原 啓之	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
10		7.14	2 ～ 3	10. 口腔外科学Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔外科学で学習する内容についてノートテキングができる。 ・授業内容についての個人レポートをまとめることができる。 ・グループにおいて授業における疑問点を抽出し、その疑問点について、調査し、レポートをまとめることができる。 	外木 守雄	E-2-4 ¹ -(10) 口腔・顎顔面領域の機能障害
11		7.21	2 ～ 3	11. 歯科麻酔学	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科麻酔学で学習する内容についてノートテキングができる。 ・授業内容についての個人レポートをまとめることができる。 ・グループにおいて授業における疑問点を抽出し、その疑問点について、調査し、レポートをまとめることができる。 	岡 俊一	A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権
12		7.28	2 ～ 3	12. 摂食機能療法学	<ul style="list-style-type: none"> ・摂食機能療法学で学習する内容についてノートテキングができる。 ・授業内容についての個人レポートをまとめることができる。 ・グループにおいて授業における疑問点を抽出し、その疑問点について、調査し、レポートをまとめることができる。 	植田 耕一郎	E-5-1) 高齢者の歯科治療

13		8.4	2 ～ 3	13. 小児歯科学	<ul style="list-style-type: none"> ・小児歯科学で学習する内容についてノートテーキングができる。 ・授業内容についての個人レポートをまとめることができる。 ・グループにおいて授業における疑問点を抽出し、その疑問点について、調査し、レポートをまとめることができる。 	白川 哲夫	E-4-2) 小児の 歯科治療
14		8.11	2 ～ 3	14. 歯科矯正学	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科矯正学で学習する内容についてノートテーキングができる。 ・授業内容についての個人レポートをまとめることができる。 ・グループにおいて授業における疑問点を抽出し、その疑問点について、調査し、レポートをまとめることができる。 	本吉 満	E-4-1) 不正咬 合の治療
15		8.18	2 ～ 3	15. 口腔診断学・ 総括	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔診断学で学習する内容についてノートテーキングができる。 ・授業内容についての個人レポートをまとめることができる。 ・グループにおいて授業における疑問点を抽出し、その疑問点について、調査し、レポートをまとめることができる。 ・歯科医学序論を受講した後の意識調査を行う。 	今村 佳樹	C-3-4)-(6) 感 覚器系と感覚 E-1-1) 診察の 基本

